Salt Valley
Tatsuya&Miwa

塩谷達也と塩谷美和のミニストリー通信

初めてのニュースレター

みなさま、お元気ですか？
いつもお祈りとご支援に感謝しています！

中々、皆さまともお会い出来ない日々が続きますが、コロナ禍によって、この2年以上、私たちの活動、ミニストリーも大きな影響を受け、変化を強いられてきました。

私たち主催のコンサートやイベントはもとより、他教会でのコンサート、セミナー、ワークショップなどの集会奉仕が激減し、これまで以上に、神さまの恵みの福音を伝えるためのミニストリーを進めていくために、今回初めて、私たち夫婦へのサポートを呼びかけさせて頂きました！

まずは、昨年末に、夫婦でのミニストリーのWEBサイトを立ち上げ、「Salt Valley サポーター」になって頂くことで、ご支援いただけるようになっています。

お祈りいただけると幸いです！

https://www.saltvalley.net/family/

1. クワイアミニストリーの恵み

私たちは、今現在、６つのゴスペルクワイアを指導させてもらっていますが（活動休止中が二つ）、コロナ禍初め2020年春から全てのリハをオンライン化して、これまでYouTubeやZoomを使って何とか継続してくることが出来ました。休止に追い込まれるクワイアもある中、このことは大きな神さまの恵みだったと信じています。多くの教会の助けにも感謝しています。

上の写真は、美和が指導する「登戸ゴスペルクワイア」がオミクロン株が蔓延する直前の昨年末、久しぶりにオープンワークショップを私たちの所属教会であるPAZ Churchで持ったときの

感謝の捧げもの

ある日、ずっと使用していなかった郵便振替口座にお金が振り込まれていました。

商品が売れたわけでもなく、いったいどなたからのお金だろうと不思議に思っていたのですが、以前、伝道コンサートをさせていただいた教会の教会員のご夫婦から振り込まれたものだということがわかりました。

私たち夫婦を覚えていてくださって、特に献金の呼びかけもしていない時に捧げてくださったこと、きっと主がご夫妻に語ってくださったことと思います。からの助けに感謝しました。

このことは、私たち夫婦が本格的にサポートを呼びかけさせて頂く一つのきっかけとなりました。

＜Salt Valley サポーター募集中＞

↓

様子です。これまでは当たり前だった光景ですが、メンバーにとっても改めてゴスペルの恵みを味わった時となりました。

達也の指導クワイア「ALL4ONE」も昨年11月にオンライン ライブ を持ち、長らく会えなかったメンバー同士が再会出来て感謝でした。

2. アフターコロナに向けての制作活動

まだまだ伝道集会やコンサートが現実的に難しい現在は、コロナが落ち着いてきた後の活動に向けての準備として制作活動をしていこうと考え、夫婦でそれぞれ与えられた曲のCD制作やMV制作などをしているところです。

昨年末に、ある教会から夫婦それぞれに日曜礼拝の特別賛美の動画依頼がありました。美和は個人での動画制作は難しいかなと導きを祈っていたところ、クリスチャンアーティストのサポートをしているALL NATIONS ART COMMUNITYの方に動画制作をして頂けることになりました。思わぬ恵みが与えられ感謝でした。

また達也も、2020年の秋に主から癒しと回復を与えられた時に授かった曲を、ピアノの佐々木潤さんとの不思議な導きによってCD制作することになり、4月にリリースを予定しています。

美和のファーストアルバムも夏頃のリリースを目指して取り組んでいるところです。

3. 所属教会での新しい奉仕

このコロナ禍の中で、私たち夫婦が受けた恵みの一つが、所属教会で主に仕えることができるようになったことでした。今までは、土日は他教会での奉仕が多く、なかなか継続的に所属教会で奉仕を引き受けることは叶いませんでした。

現在では、夫婦で、賛美奉仕をさせて頂くだけではなく、説教の奉仕もさせて頂き、セルグループのリーダーを担当し、十人くらいのメンバーと共に日曜礼拝後に集まり、メッセージや一週間の恵みの分かち合いや祈りの時間を持っています。メンバーみんなが心を開いてくれて、とても深い分かち合いの時となり、互いに励まし合い支え得ることに感謝しています。また、美和は一対一の弟子訓練を三人のメンバーと持ち、祈り会やライフグループの奉仕もしています。達也はメッセージの通訳の奉仕をしています。

今まで所属教会の外に出て行って伝道することが多かった私たちにとって、所属教会で継続的に奉仕出来ることは新しい恵みであり、主の導きに感謝しています。

今後とも主にあってどうぞよろしくお願いします。達也＆美和

２テモテ 4:2 みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりやりなさい。